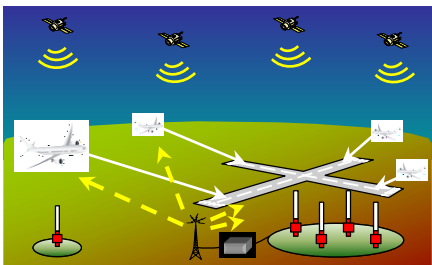
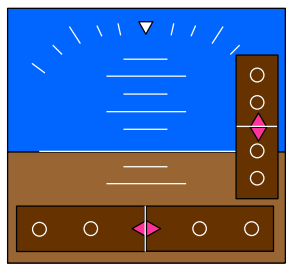


【実現施策の概要】GBAS: Ground-Based Augmentation System

○ICAO国際基準に適合するGBAS(地上型衛星航法補強システム)を導入し、精密進入サービス(カテゴリー-I)を提供する
[2019年度からトライアル運用を開始予定(羽田空港)]



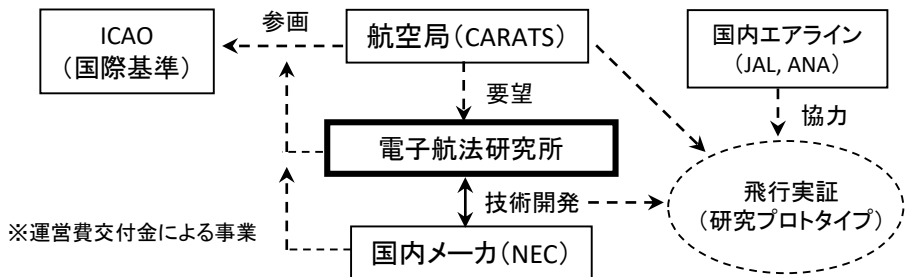
[GBASシステム配置]



[機上装置表示]

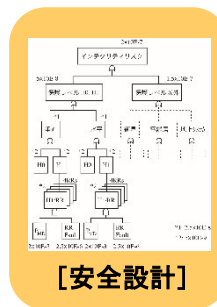
【研究の実施概要】2008～2011年度

- ・設定課題・目標 GBAS(カテゴリー-I)の安全設計技術の開発と検証
- ・研究テーマ名【GNSS精密進入における安全性解析とリスク管理技術の開発(ENRI: 福島 荘之介、齊藤 真二)】
- ・研究実施体制 下記参照

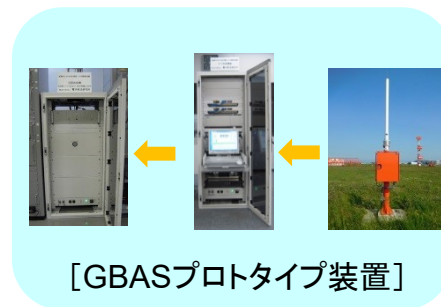


【成果還元の内容】

○進入着陸の安全を確保する技術(我が国など欧米と異なる電離圏環境で発生する擾乱現象にも対応)が装置に反映され、羽田空港へのGBAS(カテゴリー-I)導入を実現して、空港アクセス性の最適化に貢献[2016.9: 航空局が装置契約、2018年度: 装置設置予定]



[安全設計]



[GBASプロトタイプ装置]



[787による実証]

【ENRI開発技術の反映内容】

- ①研究用プロトタイプ的设计・製造を通して、新規に開発したICAO国際基準の要求を実現する精密進入の安全設計技術(空港環境、エアライン機による検証を実施)
- ②我が国など磁気緯度の低い地域で発生する電離圏の擾乱に対応する新モニタ方式

【WEB参照先】電子航法研究所 年報
https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou_index.htm

【問合せ先】

(施策に関する問合せ) CARATS事務局
国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課 03-5253-8111(内線51104・51106)
(研究に関する問合せ) 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
電子航法研究所 研究統括監付 0422-41-3432